

波紋 No.217

平成15年 7月
July

PUBLISHER: 森松株式会社

EDITOR: 梅田文康



新改善サークル 発表!

6月より、改善サークルが再編成され新たなスタートを切りました。

前サークルと比べて、より業務の関連性を持った編成となったのではないのでしょうか。

営業・配送サークル	: 「レインボーⅢ」
企画営業サークル	: 「クイックファイブ」
経理・営業アシスタントサークル	: 「GMエキスパート」
特販・製造サークルⅠ	: 「Σ-208」
特販・製造サークルⅡ	: 「ニーズ」

～各サークル長にサークル名の意味を聞いてみました～

●「レインボーⅢ」 吉岡孝記

虹の7色をメンバー7人の個性で表しⅢは営業、配送、倉庫の3つの部署が1つになり協力し合い改善を行うという意味。

●「クイックファイブ」 安井浩二

その名の通り「何でも早い速いの5人組で行こう!」という、団結と協調のあるサークルを目指す意気込みを表しています。

●「ニーズ」 西垣浩司

消費者の必要・要求に応える部署という意味から、ニーズというサークル名にしました。

●「GMエキスパート」 梅田文康

事務(略GM)のエキスパート(達人・専門家)を目指そうという意味から「GMエキスパート」いう名前に決定しました。

●「Σ-208」 森下友博

20代～60代と幅広い年齢構成ですが、エクセルの“Σ”を用いメンバーの年齢を合計する事によって、ジェネレーションギャップも乗り越えようという思いを込めました。



米国滞在を終え

いよいよ米国滞在も最後の月となり、この波紋が皆さんに届く頃には帰国準備も終わっていることかと思えます。一年と十ヶ月の長期に渡りNYに滞在しこの「世界の縮図」、「人種のるつぼ」と呼ばれる都市での生活は、上海同様に多くの刺激があり、これまた逆に我々の生活している「日本」という国の特殊性、特異性をより強く感じることになりました。「相手(集団)を思いやる心」、和の精神という考えは、こちらではまず2の次に回される概念でしょう。しかしまた米国は個々の意見、他者と違うこと、が受け入れられ易いという土壌であるとも言えます。一九九九年から二〇〇一年の上海、二〇〇一年から二〇〇三年までのNYと、四年間を海外で過ごすという経験は、これからの新たな世紀を生きる上で、私の頭に日本とは異なる新たな価値観、新たな物事の見方を加えることとなりました。そしてまた外国語での交流を通して、異なる文化背景を持つ人たちに自分を理解してもらうためには常に言葉がなければ伝えることが出来ないうこと、また異国の地で力強く、食欲に商売している各国移民の人達の姿は、かつての高度成長期の日本、現在の中国にも通じる、人間自身を持つ情熱、エネルギーに溢れています。常に上を見続ける姿勢に成長があるということ、それを明解に体現しており、それに負けていられないという気持ちも湧いてきました。

日本には、これらの国々とは違った価値観、文化があります。しかしその時代も、どんな場所でも人と人とのつながりが社会、そして企業を動かす原動力となるのは変わりありません。帰国後はまた新たな人々との出会い、交流を通じて自他共に成長していくことを楽しませておきます。名古屋でお会いしましょう!



社長 森 直樹

naoki@morimatsu.net

『TV電話開設』

森松社内でも新型肺炎（SARS）の影響がいろいろな処で出ています。

現在、モーリンでも中国出張を中止していますが、地域により七月一日より解除します。

また、パソコン委員会（岩間委員長）のほうでパソコンTV電話を開設準備中です。

先日、アメリカ・ニューヨークと横浜、名古屋を繋いだパソコンTV電話テストをしました。相手の顔を見ながら会話をしたところ、動画の動きがイマイチでしたがとても便利なツールだと思います。

上海の倪さん、成都の呉さん、NYの社長、東京の黒松さん、関東の三浦さん達の顔を見ながら電話できる日ももうすぐ始まります。早い導入とお思いの方がいるかもしれません。すでに携帯電話で取り入れている人もいますし、森松のパートさんのご家庭でアメリカ勤務の娘さんとTV電話を実行している人が身近にいます。通話料も無料ですし、設備費も二万円くらい（一台）で可能です。海外との距離がこれでズット近くなりました。皆さんの家庭でも導入されてはいかがですか？電話代無料ですからすぐ償却できますよ。森松本社三F事務所の状況は二十四時間モーリンホームページのライブ欄で放映されています。見ていない人は是非ご覧になってください。世界中どこにいても事務所内の様子がノゾキ見ることができます。面白いですよ、ホント。



今後、TV電話を使った新商売がイロイロ出てくるでしょうね、森松の皆さんも考えて下さい。何かやりましようよ。

森 信之

『悪夢』

先日、生活習慣病予防健診（一般健診）を受けました。その二週間後に結果通知表が送られてきた訳ですが、なんと胃部X線に要精査（粘膜辺縁の不整）と書かれていました。つまり、胃内視鏡検査（胃カメラ）を受けなければなりません。私が一番恐れていた胃カメラが現実のものとなりました。私は、菌医者にいけば、口を大きく開けなくては（ギョが出たり）怒られたりするありさまです。そんな私に胃カメラなんて、とんでもないことになってしまいました。現実問題、人生で最大のピンチを迎え、私の落胆した姿を見た妻は、「心配で私の胃が変になりそう」という始末。我が家は、毎日がお通夜みたいな雰囲気でした。

六月十二日（木）死ぬ覚悟で、横山胃腸科病院へ向かいました。やはり、私にとって胃カメラは凄かった。（悲惨な状況でした）一通の結果通知書で私は胃が開くぐらい辛い思いをしたのに結果は異常なし。

腹がたつのと、胃カメラを克服した満足感と、異常なしの安心感とで複雑な気持ちでした。

人間、健康が一番だと感じました。（でも、タバコはやめません！）もう、こんな経験は二度としたくない！



村田 恒夫（GMエキスパート）



『掃除』

掃除には作法と方法があるそうで、やみくもにホウキを使い、ハタキでチリを払い、雑巾をかければいいというものではない。順番もあれば、場所や対象による違いもある。道具もいい加減のものではきれいにならない。新しいのを買ってくればいいというものでもない。先を揃えたり、用途によっては、斜めにカットしてみたりする必要もある。使う石鹼や薬液についても、厳密に使い分けなければならぬ。

掃除する際には床や壁やトイレの中をきれいにするだけではなく、インテリアや置物、絵画、花などについても配慮する必要がある。建物や玄関、庭などについてもあるべしというものが、おのずと出上がってくるものである。美的センスも磨かれていなければならぬ。何よりも、心がこもっていないければならない。



大橋 康成
（レインボーⅢ）

▶▶▶▶ 読後感 ◀◀◀◀

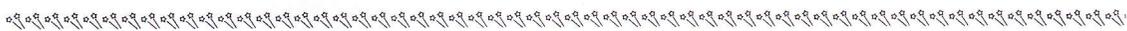
「社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった」

著者：香取 貴信

1971年生まれの元ヤンキー少年がディズニーランドという巨大なアミューズメントパークで色々な失敗談、体験をしその都度、町丸さんをはじめとする、上司、先輩、同僚達により、指導やアドバイスを受け大きく成長を遂げ、現在は逆に教える立場のコンサルティングの仕事に就いた経験談の話です。

恥ずかしながら私自身も、何社かの会社を経験し何人もの上司や先輩の指導を受けてまいりました。その都度、感銘を受けることや、納得できないこともありました。今回のこの本とだぶる所もあり、楽しく読ませていただきました。中でも「チームが最高の力を発揮するためには」が非常に重要だと感じました。組織の一員として今後頑張っていかなければならないなと思いました。マニュアルには無い「生きた言葉」が数多く掲載され、その中から「大切なこと」が見えてきた一冊でした。

三浦 政幸 (ニーズ)



「俺が、つくる！」

著者：岡野 雅行

東京都墨田区の下町に工場を構え、従業員僅か6名で年商6億円を稼ぐ会社がある。そこの代表取締役を務めるのが岡野雅行、この本の著者である。社長という風貌より昔の職人という感が強い。(名刺も代表社員と印刷してあるとの事) さぞ破天荒な経歴をお持ちの方と思えば、常に計算された筆者なりの自信に裏打ちされた経営基盤があることを本の随所から読み取る事ができた。先代より引き継いだ金型製作を営むかわら独学でプレスを学び、注文主と請け負いの立場にあった金型・プレスの事業を看板に上げ、同業者の反感を避ける為に他社がやらない仕事を受ける姿勢が現在の成功に結びついた。他社の敬遠する仕事とは工賃の安いもの、技術的に困難である仕事に他ならず、結果競争相手(工賃・価格競争)のいない独自の企業体質を生む事になる。金型だけに執着していればプレスの事はわからない、その逆もかりで、その両方を熟知する筆者は専門分野を限定した他社には出せないアイデアを提供できるようになった。情報収集にも長け、請け負った仕事の価値判断も主導権は注文主ではない。(値段交渉などは無く筆者自身が提示する価格がそのまま通る。) 価格破壊などと言われる現代においては夢のような話だが、これを可能とする岡野工業の技術的蓄積は計り知れないものがある。

物を作れば売れた時代、安易な企業姿勢でも問題にはならなかった。しかし本書から感じた事は、イソップ童話のアリとキリギリスを連想させる。自ら企画・営業・製造の三役をこなし、常に困難を前提とした仕事のみを選定し、挑戦し続ける努力は筆者自身の表に出ない部分だと思う。又、企業営利の本質を問う意味でも勉強になった。

成瀬 勝英 (レインボーⅢ)



『ゴルフ』

ゴルフを始めてから4年が過ぎ、ベストスコア98で、1回限りの100以下を経験し、それ以来100の壁を破ることができず、警察署、消防署をウロウロしています。プレイ中には、スイングしてから「シマッタ」を言葉にしないラウンドは無いぐらいです。OBは少ないのですが、アプローチとパターに問題が多く、ゴルフ仲間には上手くなったと誉めてもらっているのですが、自分の思ったようなスイングができません。練習場では、アプローチを重点的に練習しているのですが、50ヤード以内が難しくして仲間教えてもらっているのですが、練習と本番の違いに毎回、悪戦苦闘しています。手で振るな！腰を回転させろ！……

ゴルフを面白く思うのは、年齢に関係無く、皆が楽しめて、広いお風呂に入って、パーティでビールが飲めてオジサマ達に勝てるのが快感です。負けたくないオジサマもいますが、私よりも何十倍も多くのラウンドを経験しているのに同じぐらいのスコアで私に威張ってくる人がいます。最近私のほうが成績が良いので、ゴルフの会話が減ってしまいました。



大和田 夕美 (GMエキスパート)

2003年

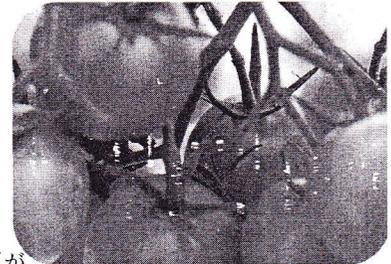
7月の予定



- 2日(水) 誕生日会
12時00分～13時00分
- 3日(木) 黒松さん誕生日
- 3日(木) I-SO-T(東京ビッグサイト)
- 5日(土) 第1土曜休み
- 11日(金) 中国情報会
18時30分～21時30分
- 12日(土) 第2土曜休み
田中さん誕生日
- 18日(金) 長崎修さん誕生日
- 19日(土) 第3土曜休み
- 20日(日) 海の日
- 21日(月) 振替休日
- 23日(水) 森伸子さん誕生日
- 24日(木) 経営会議
7時30分～8時30分
- 26日(土) 編集会議
13時00分～15時00分
生産会議
17時00分～18時00分
- 27日(日) 直樹社長帰国予定
岡田さん誕生日

おらが國の街自慢

自然天然山元町

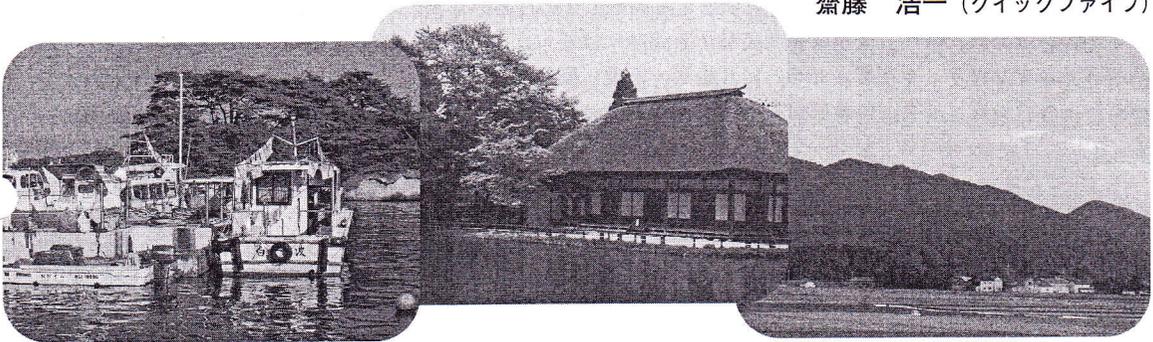


地元民が”宮城の湘南”と恥ずかしげもなく呼ぶ人口2万人弱の町が私の故郷です。農業主体の町なので、町面積6.5km²の7割が山林と農地で占めています。話す言葉はほぼ外国語の様相、東京以西から来られた方には字幕が必要なのも納得もので、まさにテレビで見るような緑一色の田舎町です。

西からは蔵王山の暖かい風が吹き降り、東からは太平洋の波音が途絶えないこの環境、空気と水の綺麗さは町民の自慢です。その上、大自然で作られた土地と食べ物は田舎の特権。兼業農家の私の家でも米と野菜を作っていますが、獲れたてのナスを持ってご近所さんのイチゴと交換するなどという、昔ながらの風景が違和感なく生きていることは私の自慢でもあります。

「おら東京さ行くだ」と歌って都会へ出ると、田舎のありがたみが、なお一層身にしみるものです。宮城へ行かれる際はぜひご用命を。私が通訳いたします！

齋藤 浩一 (クイックファイブ)



編集後記

早いもので私が森松の社員となって3か月がたちました。あつという間のような長かったような3か月でした。

最初の頃は、電話に出ても相手の名前すら聞き取れなくて、何を言っているのかさっぱりわからなくとも不安でしたが、今ではぎこちないとは思いますが電話応対も少しずつ慣れてきました。

まだまだ覚えなければならぬ仕事もたくさんあるかと思いますが、焦らずひとつひとつ確実に仕事を覚えていきたいと思います。

わからない事もたくさんありますが、これからもよろしくお願ひ致します。



田中 美樹 (Σ1208)

